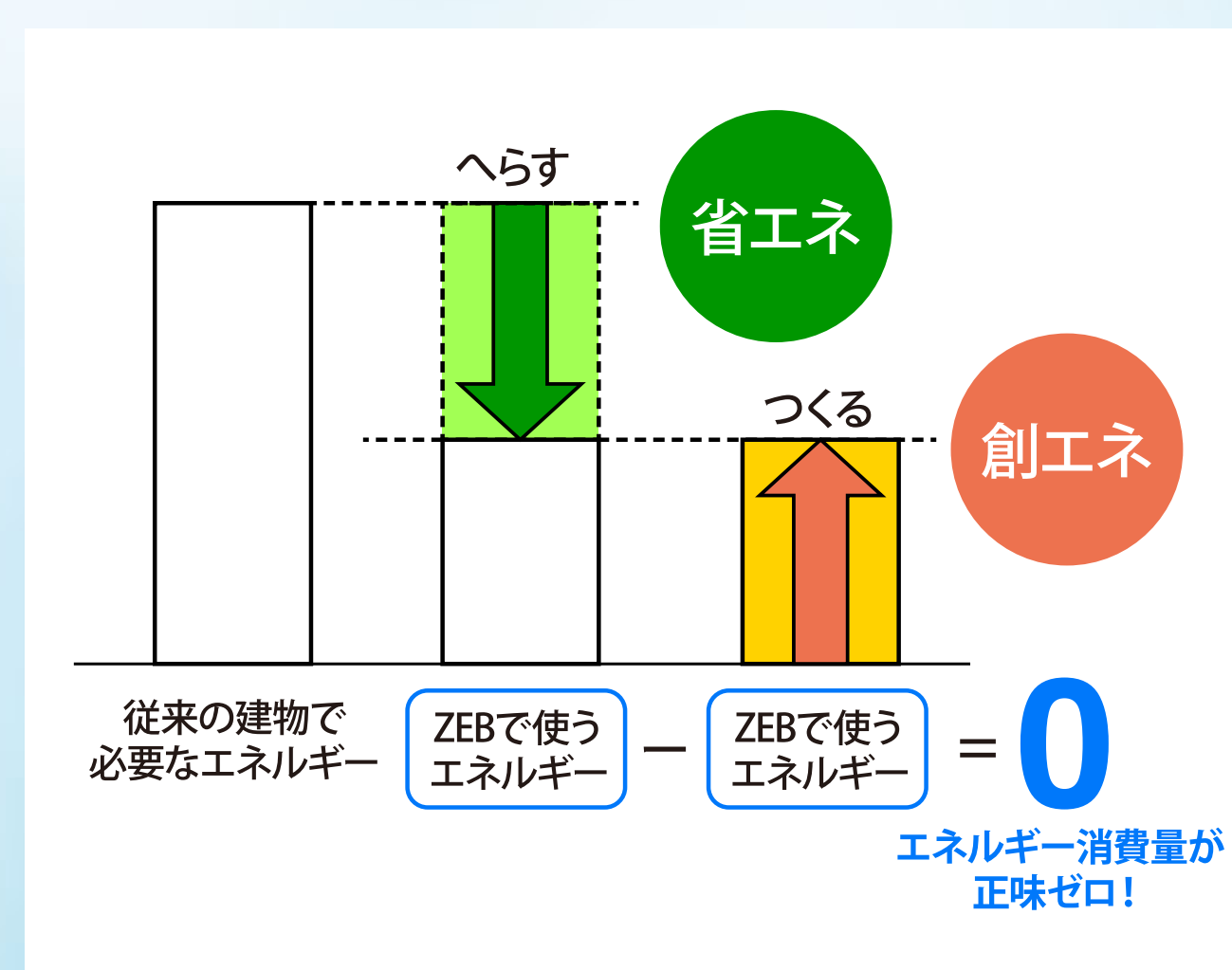


# 協和ガス本社屋が 『ZEB』<sup>\*</sup> で生まれ変わります



<sup>\*</sup> ZEBとは、Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称で、「ゼブ」と呼ばれています。建築設計段階から高度な省エネ基準を満たした材料並びに設備を使用し、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした経済産業省 資源エネルギー庁の認定制度です。ZEBには4段階の認定があり、『ZEB』は(創エネ)より(省エネ)が上回りエネルギー消費量が正味マイナスとなる最高ランクの建物です。

株式会社協和ガスは、カーボンニュートラルの実現に向けて  
高度な創エネルギー性と効率的な省エネルギーの機能を備えた  
『ZEB』(ゼブ)認証基準をクリアした新社屋を建設します。



## CONCEPT

株式会社協和ガスでは、沖縄県内の一般家庭をはじめ、学校・公共施設・福祉などの施設にLPガスの充填及び販売を行っています。沖縄県内の事業における統括拠点となる本社屋棟「事務所: 1146.6㎡」の新設に伴い『ZEB』化を図り、本社からのCO2排出量削減を図ることを目的としています。また、太陽光発電と蓄電池等を導入して、本社施設の事業継続性を確保するとともに、災害時には避難所や病院等へのLPガスの供給支援を行います。

## ZEB建築のメリット

### 光熱費の削減

室内環境の質を維持しつつ、エネルギー消費量削減することで光熱費を抑えることが可能です。

### 快適な空間の創出

高い断熱性能により、外気の寒暖の変化に影響されにくく、室内環境の快適性が高まります。

### 省エネルギー意識の啓発

エネルギーの見える化により、省エネ意識の啓発を図り、運用改善効果が期待できます。

### 災害時の事業継続

災害時の停電でも多くの設備の稼働が可能です。蓄電池を導入すれば、さらに事業継続性が向上します。

## 新社屋建設でSDGsへの取り組みを進めます

SDGsとは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



- 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 11. 住み続けられるまちづくりを
- 13. 気候変動に具体的な対策を
- 14. 海の豊かさを守ろう
- 15. 陸の豊かさを守ろう